

## 第2章 坂井市の文化財の概要

---



# 1. 文化財の概要

## (1) 指定・登録文化財の状況

坂井市には、国・県・市の指定・登録文化財が125件所在（令和3年3月31日現在）している。文化財保護法に基づく「国指定等文化財」が15件、「国登録文化財」が13件所在している。また福井県文化財保護条例（以下、「県条例」という。）に基づく「県指定文化財」が32件、市条例に基づく「坂井市指定文化財」が59件、また、県内では珍しい市独自の登録文化財選定により「坂井市登録文化財」が6件となっている。文化財類型に合わせた文化財指定や登録が未だ十分に行われておらず、無形文化財、文化的景観、伝統的建造物群は指定等がない。

表3 指定等および登録文化財件数（令和3年3月31日現在）

区分（分類）		国指定等	県指定	市指定	国登録	市登録	合計	
有形文化財	建造物	4	5	10	12	2	33	
	美術工芸品	絵画	3	3	0	0	0	6
		彫刻	0	4	14	0	0	18
		工芸品	2	3	3	0	0	8
		書跡・典籍・古文書	0	2	3	0	0	5
		考古資料	0	1	1	0	0	2
		歴史資料	1	2	3	0	1	7
無形文化財		0	0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形民俗文化財	0	0	1	0	0	1	
	無形民俗文化財	0	6	6	0	0	12	
記念物	遺跡	2	3	12	0	3	20	
	名勝地	1	0	0	1	0	2	
	動物・植物・地質鉱物	2	3	6	0	0	11	
文化的景観		0	—	0	—	—	0	
伝統的建造物群		0	—	0	—	—	0	
合計		15	32	59	13	6	125	

※国天然記念物及び名勝に指定されている東尋坊は指定順位1位の地質鉱物を含む。

※地域を定めない動物（コウノトリ、ニホンカモシカ、マガン、ヒシクイ）は、動物・植物・地質鉱物の件数に含めない。

## ①国指定等文化財

本市では国指定の文化財は15件あり、有形文化財のうち建造物が4件、美術工芸品が6件、記念物は5件ある。

建造物では、瀧谷寺本堂・鎮守堂などや三国港（旧阪井港）突堤、丸岡城天守、坪川家住宅の4件が指定されている。室町時代や江戸・明治時代の建物が指定され、天守、港湾施設、寺院など多岐にわたる。これらの建物が造られた背景には、九頭竜川を中心にした舟運や日本海海運の発展がもたらした本地域の繁栄ぶりがあった。また町衆や村民らが領主や寺社などを支えるだけの経済的な余裕があったことも示している。現存する県内最古の民家の坪川家住宅は、山と川に囲まれた山村集落として発展した竹田地区に所在し、後背地の山村とともに独特な自然景観をみせている。

美術工芸品では、本市唯一の国宝・こんどうほうそうげもんけい金銅宝相華文磬の金工品や、けんぼんちやくしよくたあしようにんしんきようぞう絹本著色他阿上人真教像、絹本著色地藏菩薩像などの仏画のほか、全国的にも珍しい室町時代中期の天文図の天之図（星図）などの6件が指定されている。

記念物では、東尋坊は自然地形として著名で、三国港突堤にも東尋坊の岩が一部使われており、天然記念物と名勝の二重の指定を受けている。そのほか、江戸時代に築庭された滝谷寺庭園や丸岡藩が造った砲台跡、六呂瀬山古墳群、アラレガコ生息地の5件が指定されている。



写真24 坪川家住宅（丸岡町上竹田）



写真25 金銅宝相華文磬（瀧谷寺）

## ②県指定文化財

本市では、県指定文化財は32件あり、有形文化財のうち建造物が5件、美術工芸品が15件、無形民俗文化財が6件、記念物6件である。

建造物では、江戸時代の大湊神社本殿・拝殿などがある。

美術工芸品では、室町時代から南北朝時代の絵画の絹本著色白山参詣曼荼羅図などがある。また、平安時代後期から室町時代の彫刻の木造神像伊邪那岐命など、鎌倉時代いざなぎのみことの卷子本浄土三部経、南北朝時代から明治時代の書跡・典籍・古文書などがあり、主に寺社や地区で所蔵されている。

無形民俗文化財では、三國神社例大祭三国祭や日向神楽ひゅうががくらといった祭礼に関するもの、舟寄踊やなんぼや踊り唄ひょうこといった盆踊りに関するもの、表見の米といった



写真26 絹本著色白山参詣曼荼羅図（國神社所蔵、福井県教育委員会提供）

稲作文化に関するもの、雄島<sup>あま</sup>海女の素潜り漁と加工技術の生業に関するものがある。

記念物では、遺跡、名勝地、植物が指定されている。遺跡では横山古墳群の南端に立地する6世紀の前方後円墳・椀貸山古墳がある。江戸時代に、福井藩が保護した称念寺にある新田義貞公墓所も指定されている。また、藤鷲塚のフジや紀倍神社のオニヒバナなど、神社などに伝わる古木も指定されている。



写真 27 新田義貞公墓所（称念寺）

### ③市指定文化財

市指定文化財は59件あり、有形文化財のうち、建造物が10件、美術工芸品が24件、有形民俗文化財が1件、無形民俗文化財が6件、記念物が18件である。

建造物は鎌倉時代の針原八幡神社石造多層塔、信社王神社石造多層塔などがある。

美術工芸品が24件と多く、そのうち14件は仏像・神像などの彫刻である。三国神社拜殿向拝の群猿像、三国神社木造神馬像、木造新井白石胸像は三国の彫刻師が手掛けたものである。工芸品には祭礼行事に奉納される三国祭の山車屋台3基が指定されている。また、三国湊の豪商であった森田家文書には、安土桃山時代から江戸時代初期の貴重な古文書がまとまって残されている。これらのような三国湊の繁栄を伝えるものが多く指定されている。

さらに、美術工芸品には本市の真宗信仰の一端を示す寄安道場関連資料や伝承に由来する黄楊の旧跡も指定されている。考古資料としては牛ヶ島石棺がある。本来、古墳の埋葬施設に葬られている石棺が後世の再利用による大きな加工が行われずに保存され、指定文化財となっていることは珍しい。

有形民俗文化財は、春江町西長田にある汗かき地蔵が唯一指定されている。この地蔵は災厄を予見し警鐘を鳴らすとされ、昭和23（1948）年の福井地震の際にも汗をかいたといわれている。

無形民俗文化財では、いざぎ、海女唄、三国節といった唄に関するもの、火の太鼓、越前打ち込み太鼓といった地域に根付いた芸能が指定されている。

記念物では、古墳、寺跡、藩主などの墓所のほか、地域や個人宅に伝わる樹木が指定されている。



写真 28 汗かき地蔵（春江町西長田）



写真 29 海女唄（三国町米ヶ脇）

#### ④国登録文化財

国登録文化財は13件あり、有形文化財が12件と記念物が1件である。

有形文化財には、旧岸名家住宅、坂井家住宅、魚志楼（松崎家住宅）、旧森田銀行本店、旧大木道具店店舗兼主屋や、眼鏡橋などの12件があり、ほとんどが三国町旧市街地に集中している。この地域は、かつて三国湊で繁栄した町並みがあり、湊町とその周辺には「かぐら建て」と呼ばれる屋根形をした町家が多く連なっている。「かぐら建て」とは、妻入の主屋前面に平入の前半分をつけたような形で、三国特有の建築様式である。登録文化財の建物は、町家、洋風建物、鉄道関連建物の3種類に大きく分けられる。

記念物では、坪川氏庭園が登録を受けており、江戸時代の豪農を起源とする農家の庭園である。庭園は国重要文化財の坪川家住宅に隣接する池庭を中心として、山からの導水、菖蒲園、巨樹を含む屋敷林などにより、独特な自然環境を形成している。



写真30 かぐら建ての旧岸名家住宅(三国町北本町・下新)

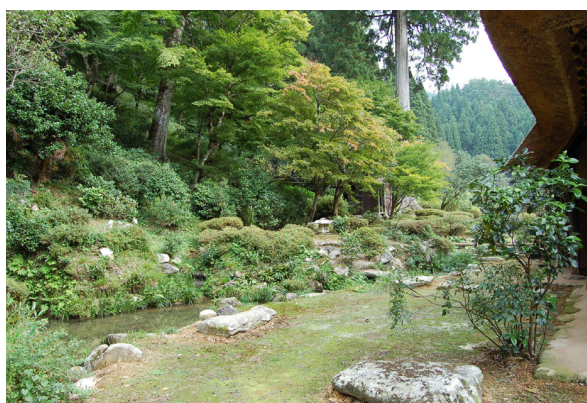


写真31 坪川氏庭園(丸岡町上竹田)

#### ⑤市登録文化財

市登録文化財は6件あり、有形文化財が3件と記念物が3件となっている。人物の伝承に関するものも対象になっている。

有形文化財としては、上金屋八幡神社と中庄神明神社に鎌倉時代の石造多層塔がある。中庄神明神社の石造多層塔は本来の位置から移動しているが、石造物としての歴史的価値は高い。

記念物では、人物の伝承に関するものとして、古墳時代の継体天皇に関連する石塚神社岩座とてんのう堂、鎌倉時代の禅僧・瑩山紹瑾（けいざんしょうきん）にまつわる瑩山禅師誕生地、源平合戦で活躍した斎藤実盛にまつわる実盛池が登録されている。



写真32 中庄神明神社石造多層塔(春江町中庄)



写真33 石塚神社岩座(春江町石塚)

## (2) 日本遺産の認定

### 『荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～』

北前船寄港地・船主集落を中心としたストーリーで、平成 29（2017）年度に認定されていたものに平成 30（2018）年度に追加認定された。複数の市町村にまたがってストーリーが展開する「シリアル型」として認定されており、坂井市内の構成文化財は 19 件となっている。

#### 【認定自治体（◎印は代表自治体）】

山形県（◎酒田市、鶴岡市）、北海道（函館市、松前町、小樽市、石狩市）、青森県（鱒ヶ沢町、深浦町、野辺地町）、秋田県（秋田市、にかほ市、男鹿市、能代市、由利本荘市）、新潟県（新潟市、長岡市、佐渡市、上越市、出雲崎町）、富山県（富山市、高岡市）、石川県（加賀市、輪島市、小松市、金沢市、白山市、志賀町）、福井県（敦賀市、南越前町、坂井市、小浜市）、京都府（宮津市）、大阪府（大阪市、泉佐野市）、兵庫県（神戸市、高砂市、新温泉町、赤穂市、洲本市、姫路市、たつの市）、鳥取県（鳥取市）、島根県（浜田市）、岡山県（倉敷市）、広島県（尾道市、呉市、竹原市）、香川県（多度津町）

#### 【ストーリーの概要】

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられる。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っている。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われている。

これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやまない。

表 4 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～の坂井市の構成文化財

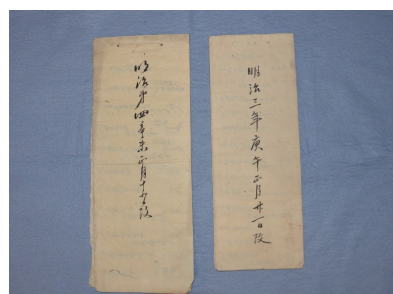
No.	文化財の名称	指定等の状況	No.	文化財の名称	指定等の状況
1	旧岸名家住宅	国登録有形文化財	11	三国浦絵図	未指定有形文化財
2	魚志楼（松崎家住宅）	国登録有形文化財	12	越前三国湊風景之図	未指定有形文化財
3	瀧谷寺	重要文化財	13	三国仏壇	未指定有形文化財
4	みくにじんじゃずいしんもん 三國神社隨身門	県有形文化財	14	三国筆筒（船筆筒）	未指定有形文化財
5	新保春日神社	県有形文化財 市有形文化財	15	笏谷石関連古文書群	未指定有形文化財
6	大湊神社	一部県有形文化財	16	三國神社例大祭（三国祭）と 山車屋台	県無形民俗文化財 一部市有形文化財
7	三国港（旧阪井港）突堤	重要文化財	17	なんぼや踊り唄	県無形民俗文化財
8	日和山	未指定記念物	18	いざぎ	市無形民俗文化財
9	北前船古文書群	一部市有形文化財	19	三国節	市無形民俗文化財
10	北前船船絵馬群	未指定有形文化財			



北前船古文書群



新保春日神社



笏谷石関連古文書群



三国仏壇



船筆筒



三国節

### (3) 未指定文化財の状況

#### ①未指定文化財

未指定文化財は、現在 1,557 件が確認されている。

未指定文化財には正月行事の左義長・どんど焼き、三国町の<sup>としとくしん</sup>歳徳神祭礼などの無形民俗文化財が多い。また、市の神社には多くの絵馬が残され、皮膚病に対する民間信仰を伝える「なまず」図の絵馬なども含まれる。さらに、報恩講などの宗教行事も含まれている。

三国祭の山車人形や提灯<sup>ちようちん</sup>の制作などの工芸技術は、無形民俗文化財と密接に関わりながら現在まで継承されている。また、三国町安島などには、緻密な刺し目で幾何学的模様が施された刺子の着物「モッコ」がある。

有形文化財では、高見順生家や哥川句碑、山田介堂筆塚といった人物ゆかりの生家や碑などがあることも特徴である。

その他の文化財では、伝承は人物との関係を示す場所や物のほか、食文化に関するものがある。なかでも、継体天皇と振姫に関するものは市内に点在している。

眺望、景観資源は本市の地形を活かし、山地を視点場とした「六呂瀬山古墳群墳頂からの眺望」、平野を対象とする「田園風景」、「そば畑」のほか、建物を視点場とした「みくに龍翔館からの三国湊の風景」、「丸岡城天守からの眺望」などがある。

文学作品は国天然記念物・名勝に指定されている東尋坊の指定地区で生まれている作品があり、「越前松島」や「雄島」といった名勝地と関連する題材が多い。方言は古くから雄島周辺で生業が営まれている安島地区で受け継がれている安島弁がある。

表5 町ごとの未指定文化財の件数

(R3.9.1)

種別	計	三国	丸岡	春江	坂井	全域等	
有形文化財 (835)	建造物	264	90	58	28	87	1
	絵画	55	28	9	5	13	0
	彫刻	211	76	55	20	59	1
	工芸品	41	18	13	0	10	0
	書跡	3	1	0	1	1	0
	典籍	8	2	0	0	6	0
	古文書	71	35	17	5	14	0
	考古資料	13	2	6	1	4	0
	歴史資料	135	66	36	12	18	3
	食	29	6	2	2	7	12
不明	5	5	0	0	0	0	
無形文化財 (8)	無形文化財	0	0	0	0	0	0
	保存技術	8	6	0	0	2	0
民俗文化財 (402)	有形民俗文化財	41	21	9	2	6	3
	無形民俗文化財	361	111	105	83	61	1
記念物 (132)	史跡 (遺跡)	98	32	37	17	12	0
	名勝地	8	1	4	3	0	0
	天然記念物 (動物・植物・地質鉱物)	26	13	9	4	0	0
文化的景観 (7)	文化的景観	7	0	1	0	0	6
伝統的建造物群 (5)	伝統的建造物群	5	2	2	0	1	0
その他 (153)	伝承	49	14	16	9	10	0
	地名	1	0	0	1	0	0
	方言	1	1	0	0	0	0
	眺望	6	2	2	0	0	2
	湧水・清水	5	2	3	0	0	0
	文学作品	41	39	2	0	0	0
景観資源	50	12	18	8	12	0	
複数の分類にまたがるもの (15)	15	8	6	0	0	1	
合計	1,557	593	410	201	323	30	

## ②食文化

本市は水の恵みゆたかな平野、海や山など多様な自然環境を有することから、四季折々の農産物や海産物などが豊富である。農産物にはメロン、スイカ、ナシなどの果物、米（コシヒカリ）、そば、六条大麦などの穀物がある。海産物には、皇室献上品として90年以上続く「越前がに」をはじめ、もみわかめや甘えび、塩うになどがある。また、福井県のブランド牛「若狭牛」の最大産地である。

表6 坂井市の食文化一覧

食材名	概要	地区
花らっきょ	全国で唯一、植え付けから収穫まで足かけ3年をかけて栽培される。小粒で繊維が細かく、シャキシャキとした食感が特徴。	三国
おろしそば	丸岡町は県内でも1、2位を誇るそば産地である。丸岡産そば粉で作った「おろしそば」は香り高く風味が強い。そばに大根おろしの汁と出汁をあわせたものをかけて食べる。	市内全域
米（コシヒカリ）	コシヒカリは昭和31（1956）年に福井県内の農業試験場で生まれた。炊きあがりの粘りとほのかな甘みが味わえ、冷めてもおいしいお米。	市内全域
越前 <sup>しらくき</sup> 白茎ごぼう	根も葉も食べられるゴボウ。根は短く茎は白くて長い。主に茎を食べ、しゃりしゃりとした食感で茎もゴボウの味がする。	春江



食材名	概要	地区
六条大麦	全国一の作付面積を誇る。主に麦ごはんや麦茶に利用されている。	市内全域
若狭牛	きめがこまやかで柔らかく、霜降りの度合いのサシが密であり、風味に富んだ高級牛である。	市内全域
越前がに	冬の味覚の王者として知られる。越前がにに関する記録は1511年の公家日記にも記されている。坂井市で水揚げされたカニがこれまで90年以上、皇室に献上されている。11月6日に解禁され、漁獲期間はメスのセイコガニは12月31日、オスのズワイガニは3月20日までとされている。	三国
甘えび	越前がにと並んで人気の高い珍味。独特のとろっとした食感と甘みが絶品で、生で味わうのが一番人気。4月～10月頃に、船尾から海底付近へ網を下ろし、船で網を曳く沖合底引き網漁で漁獲される。	三国
ガサエビ	甘えびより一回り大きい。獲れる量が少なく、鮮度が落ちやすいため、市場にはあまり出回らず、主に地元で消費される希少なえび。	三国
もみわかめ	4月末ごろから採れる新ワカメを天日干しにし、乾いたものを手で揉んで仕上げる。瓶詰めにして販売される。	三国
塩うに	バフンウニの塩漬けのこと。日本3大珍味のひとつとされる。江戸時代後期の書物『日本山海名産図会』でも記載されている。ウニ漁は7月中旬に解禁され、約2週間で終了。海女が素潜りで採ったウニを手作業で割り、中身を塩漬けにする。	三国
酒饅頭 <small>まんじゅう</small>	三国地区を代表するお菓子のひとつ。江戸時代に往来した北前船の船乗りたちから製法を学び、今に伝えられているという伝統の深い和菓子。もち米と米麴が種原料の甘酒を熟成させ、小麦粉を混ぜた種が特徴。ほどよく膨らんだら蒸し、最後に店によって異なる焼き印を押す。祭りや婚礼の祝い菓子としても重宝される。	三国
日本酒	豊かな坂井平野の稲作と水の恵みから酒造りが行われている。市内唯一の酒蔵では江戸時代から行われている。	丸岡 坂井
豊原のそうめん	江戸時代の「 <small>こくじょういぶん</small> 国乗異聞」や「 <small>あけちぐんき</small> 明智軍記」などには豊原のそうめんについて、当時の産物や名物であると記載されている。現在はイベントの時などにふるまわれる。	丸岡



花らっきょ



おろしそば



越前がに



もみわかめ



塩うに



酒饅頭

表7 坂井市の伝統食

食材名	概要	地区
とびつき団子 (トビツケダンゴ)	団子にささげをつけたもの。もともとはお盆に仏様へのお供えとして作られていた。現在は菓子店などで販売されている。あわら市本荘地区でも作られている。	三国 坂井
ぼっかけ	ごぼうやこんにゃく、油揚げなどを入れたごぼう汁をご飯にかけたもの。坂井町兵庫地区では結婚式に食べていたが、現在、結婚式では食べない。春江町ではご飯にはかけず、ごぼう汁のままで食べる。	春江 坂井
葉っぱ寿司	8～9月に作られる。各家庭にアブラグリの木が植えられ、嫁入りの際にも木を持っていく慣習があるという。鱒を甘酢に浸けてアブラグリの葉で包む。8月の夏祭りなどにもお供えする。永平寺町にも同様の寿司が伝わっている。	丸岡 春江
魚の塩炒り	カレイ、ハタハタ、イワシ、メギスなどの小魚を、塩を入れて茹でたあと軽く炒ったもの。	三国
デンガク	清永のデンガクと言われる程、清永の婚礼時にはつきもので、ハタハタを炭火で焼き、砂糖と味噌のたれをつけてふるまった。現在はコミュニティセンター祭りなどのイベント時に作る。	坂井
報恩講料理	浄土真宗信仰が広く浸透しており、講の食事が古くから伝わっている。(麩のからしあえ、油揚げの煮物など)	市内全域
なとみそ (なっとみそ)	塩漬けにしたナスを塩抜きして麩漬けにしたもの	三国



葉っぱ寿司



魚の塩炒り

### ③埋蔵文化財

周知の埋蔵文化財包蔵地は、令和3(2021)年4月1日現在で374件が確認されている。福井市に次いで県内で2番目に多い。このうち、遺物散布地が301件と最も多く、次いで古墳が23件、城跡・館跡が20件となっている。

また、時代別では、古墳時代が216件と最も多く、その次に平安時代、奈良時代、中世、弥生時代、近世、縄文時代、旧石器時代となっている。

表8 周知の埋蔵文化財包蔵地における種別の件数

種別	件数
古墳・古墳群・墳墓	23
寺院跡	3
集落跡	19
城跡・館跡	20
遺物散布地	301
その他(洞穴・貝塚・銅鐸出土地・窯跡・横穴)	8
計	374

表9 周知の埋蔵文化財包蔵地における時代別の件数

時代	件数
旧石器時代	3
縄文時代	6
弥生時代	105
古墳時代	216
奈良時代	185
平安時代	199
中世	142
近世	56
不明	13
計	925

※遺跡で複数の時代をもつことがあるため、種別数の合計と時代数の合計は一致しない。

#### ④坂井市百景

本市では、市の魅力をアピールするとともに景観に対する市民の意識高揚を図るため、「坂井市百景」の募集を行い、選定している（平成21年7月現在50景）。また、坂井市を代表するすぐれた景観を「特選資源」としている。

表10 坂井市百景 (H21.7)

分類	番号	名称	摘要	地区
眺望風景	1	東尋坊	特選資源	三国
	2	嵩の田園と梶の里山	身近な景観資源	三国
	3	雄島	特選資源	三国
	4	加戸小学校から望む坂井平野	身近な景観資源	三国
	5	六呂瀬山古墳群と古墳群下からの眺望	身近な景観資源	丸岡
	6	丈競山	身近な景観資源	丸岡
	7	そば畑	身近な景観資源	丸岡
	8	田園風景	特選資源	坂井
	9	九頭竜川堤防からの眺望	身近な景観資源	坂井
	10	えちぜん鉄道と田園風景	身近な景観資源	坂井
水辺	11	荒磯遊歩道	特選資源	三国
	12	大堤（通称：鴨池）	身近な景観資源	三国
	13	竹田川溪谷	身近な景観資源	丸岡
	14	小和清水	身近な景観資源	丸岡
緑公園	15	嵩のひまわり畑	身近な景観資源	三国
	16	はなしょうぶ園と千古の家	特選資源	丸岡
	17	たけくらべ広場	身近な景観資源	丸岡
	18	女形谷のサクラ	身近な景観資源	丸岡
	19	福井県総合グリーンセンター	身近な景観資源	丸岡
	20	竹田水車メロディーパーク	身近な景観資源	丸岡
	21	吉澤家庭園	身近な景観資源	春江
	22	江留上防災公園	身近な景観資源	春江
	23	旧島崎邸	身近な景観資源	春江
	24	藤鷲塚のフジ	身近な景観資源	春江
	25	ゆりの里公園	身近な景観資源	春江
	26	エンゼルランド	身近な景観資源	春江
	27	木部ふれあい公園	身近な景観資源	坂井
	28	新庄地区ふるさと花壇	身近な景観資源	坂井
歴史暮らし文化	29	三国港（旧坂井港）突堤を含む）	身近な景観資源	三国
	30	町屋の見える街なみ	身近な景観資源	三国
	31	中野重治生家跡	身近な景観資源	丸岡
	32	称念寺	身近な景観資源	丸岡
	33	鳴鹿御野立所	身近な景観資源	丸岡
	34	丸岡城	特選資源	丸岡
	35	てんのう堂	身近な景観資源	丸岡
	36	紀倍神社	身近な景観資源	坂井
	37	京福線高架跡	身近な景観資源	坂井
	38	お早良作慰霊地蔵	身近な景観資源	坂井
	39	春日神社	身近な景観資源	坂井
建造物施設ランドマーク	40	みくに龍翔館	特選資源	三国
	41	丸岡スポーツランドと健康施設	身近な景観資源	丸岡
	42	鳴鹿大堰	身近な景観資源	丸岡
	43	坂井市立春江東小学校	身近な景観資源	春江
	44	春江町複合高架水槽（通称：給水塔）	身近な景観資源	春江

分類	番号	名称	摘要	地区
建造物 施設 ランドマーク	45	J R 北陸本線の線路	身近な景観資源	坂井
	46	J R 丸岡駅	身近な景観資源	坂井
	47	えちぜん鉄道下兵庫駅	身近な景観資源	坂井
祭り 行事	48	三国花火	特選資源	三国
	49	雄島祭り	身近な景観資源	三国
	50	蓮如上人御影道中	身近な景観資源	丸岡



加戸小学校から望む坂井平野



そば畑



蓮如上人御影道中



水中花火の様子（三国花火）

## 2. 文化財調査の概要

本市ではこれまで歴史文化に関する様々な調査を実施してきた。下記に、本市の文化財調査の実施状況と課題について整理した。

### (1) 既存調査

合併以前も含め、これまでの文化財に関する主な調査・研究を表11、12にまとめた。

表11 文化財に関する主な調査・研究一覧

類型	既存調査、成果および資料など	発行等年	発行元、調査主体等
① 有形文化財	福井県の民家 民家緊急調査報告書 昭和44年度	S45(1970)	福井県教育委員会
	福井県古文書所在調査報告書	S54(1979)	福井県教育委員会
	近世社寺建築緊急調査報告書	S56(1981)	福井県教育委員会
	三国町内土人形調査	S57(1982)以前	三国町郷土資料館
	三国町の民家と町並 (三国町民家調査、町並調査報告書)	S58(1983)	三国町教育委員会
	三国町内神仏像調査	S60(1985)～ S63(1988)	三国町教育委員会・三国町文化財保護委員会
	三国焼調査	S62(1987)以前	三国町郷土資料館
	三国町の宗教美術	H2(1990)	三国町教育委員会
	若越郷土研究第35巻5号(山本昭治「春江町の板碑群」)	H2(1990)	福井県郷土誌懇談会
	三国町社寺文化財調査 その1～その3	H5(1993)以前	三国町教育委員会
	サックリ調査	H6(1994)以前	三国町郷土資料館
	旧福井銀行三国本町支店 保存調査報告書	H7(1995)	(有)赤土善蔵アトリエ一級建築士事務所
	丸岡町寺院調査	H8(1996)	福井県郷土誌懇談会
	福井県の近代化遺産	H11(1999)	福井県教育委員会
	福井県石造建造物調査報告書 神社編1(坂井郡)	H14(2002)	若越建築文化研究所
	三国街なみ環境整備事業現況調査報告書	H15(2003)	三国町
	明治三大築港展	H16(2004)	みくに龍翔館
	福井の歴史的建造物	H17(2005)	福井県
	坂井の鐵道博覧展 北陸本線敷設からえち鉄まで	H18(2006)	みくに龍翔館
	福井の伝統的民家／伝統的民家群保存活用推進地区	H18(2006)	福井県
	旧岸名家住宅・三国湊町家館修理および改修工事報告書	H19(2007)	若越建築文化研究所
	福井県の近代和風建築 福井県近代和風建築総合調査報告書	H24(2012)	福井県教育委員会
	白山信仰関係古文書調査報告書(福井県・滝谷寺文書)	H24(2012)	福井県教育委員会
瀧谷寺伽藍調査報告書(滝谷寺)	H24(2012)	摩尼寶山 瀧谷寺	
内田璞家文書目録	H28(2016)	坂井市教育委員会 みくに龍翔館	
越前丸岡城の門遺構調査報告書	H31(2019)	若越建築文化研究所	
丸岡城天守学術調査報告書	H31(2019)	坂井市教育委員会	
② 無形文化財	福井県の諸職 福井県諸職関係民俗文化財調査報告書	H5(1993)	福井県教育委員会
③ 民俗文化財	三国町の大正～昭和初期の食生活に関するアンケート調査	S39(1964)以前	三国町郷土資料館
	福井県民俗資料緊急調査報告書 昭和39年度	S40(1965)	福井県教育委員会
	福井県の民謡	S42(1967)	福井県民俗学会
		S63(1988)	福井県教育委員会
	福井県民俗分布図一緊急民俗文化財分布調査報告書一	S55(1980)～S56(1981)	福井県教育委員会
	三国祭各区聴き取り調査	S60(1985)以降	三国町郷土資料館
	三国の昔話	S62(1987)	三国町教育委員会
	春江の民謡	S63(1988)	春江町教育委員会
天神様調査	H12(2000)以前	みくに龍翔館	

類型	既存調査、成果および資料など	発行等年	発行元、調査主体等
③ 民俗文化財	福井県の民俗芸能 福井県民俗芸能緊急調査報告書	H15(2003)	福井県教育委員会
	左義長調査	H28(2016)	坂井市教育委員会
	福井県のまつり 健康と諸願成就を祈る 庚申さん	H28	不明
	暮らしの絵図調査	不明	小泉和子
	春江町の民具等収集事業	不明	春江町教育委員会
④ 記念物	春江の樹木一巨木・古木の調査一	H12(2000)	春江町教育委員会
	寺院庭園悉皆調査	H19(2007)	坂井市教育委員会
	ふくいの名木・名花	H20(2008)	「ふくいの名木・名花」編集委員会
	福井県一里塚調査	不明	福井県教育委員会
	河和田遺跡発掘調査(国学院大学)	S39(1964)	坂井町教育委員会
	宮領遺跡発掘調査	S41(1966)	坂井町教育委員会
	川端遺跡発掘調査	S52(1977)	三国町教育委員会
	西谷遺跡発掘調査	S53(1978)	三国町教育委員会
	六呂瀬山古墳群発掘調査(福井県)	S53(1978)	福井県教育委員会
	豊原寺跡発掘調査	S54(1979)～S58(1983)	丸岡町教育委員会
	姥ヶ谷古墳発掘調査	S55(1980)	三国町教育委員会
	川端遺跡発掘調査	S55(1980)	三国町教育委員会
	西向遺跡発掘調査	S57(1982)～S58(1983)	三国町教育委員会
	下屋敷遺跡発掘調査	S60(1985)	三国町教育委員会
	東向野遺跡発掘調査	S60(1985)	三国町教育委員会
	六呂瀬山古墳群発掘調査	S60(1985)	丸岡町教育委員会
	長屋遺跡発掘調査	S60(1985)～S61(1986)	坂井町教育委員会
	出世山古墳群発掘調査	H2(1990)～H5(1993)	三国町教育委員会
	東太郎丸遺跡発掘調査	H7(1995)	春江町教育委員会
	坂井兵庫地区遺跡群発掘調査(～H12・福井県)	H8(1996)～H12(2000)	福井県教育委員会
	大関東遺跡(前田地区)・大味上遺跡(西前田地区)発掘調査(～H9・福井県)	H8(1996)～H9(1997)	福井県教育委員会
	大関西鯉地区遺跡群発掘調査	H10(1998)～H12(2000)	坂井市教育委員会
	女形谷長畝遺跡発掘調査(～H12・福井県)	H11(1999)～H12(2000)	福井県教育委員会
	西長田遺跡発掘調査(福井県)	H11(1999)	福井県教育委員会
	松木遺跡発掘調査 丸岡町	H16(2004)	坂井市教育委員会
	高柳下安田遺跡発掘調査(福井県)	H16(2004)	福井県教育委員会
	上安田向田遺跡発掘調査(福井県)	H16(2004)	福井県教育委員会
	高柳・下安田遺跡発掘調査(福井県)	H18(2006)	福井県教育委員会
	大関東遺跡・上蔵垣内遺跡発掘調査(福井県)	H20(2008)	福井県教育委員会
	六呂瀬山古墳群周辺確認調査(～H25)	H21(2009)～H25(2013)	坂井市教育委員会
	大牧・木部新保遺跡発掘調査(福井県)	H21(2009)	福井県教育委員会
	大関東遺跡(福井県)	H21(2009)	福井県教育委員会
上蔵垣内遺跡(福井県)	H21(2009)	福井県教育委員会	
大味上遺跡・大味中遺跡発掘調査(福井県)	H22(2010)	福井県教育委員会	
丸岡城跡範囲確認調査	H25(2013)～R1(2019)	坂井市教育委員会	
長崎遺跡発掘調査	H28(2016)	坂井市教育委員会	
六呂瀬山古墳群発掘調査(～継続)	H30(2018)～	坂井市教育委員会	
大関東遺跡発掘調査	R1(2019)	坂井市教育委員会	
⑤ 文化的景観	-	-	-
⑥ 伝統的建造物群	三国町の民家と町並(三国町民家調査、町並調査報告書)(再掲)	S58(1983)	三国町教育委員会
⑦ その他	丸岡町・福井大震災追想誌「お天守がとんだ」	H12(2000)	丸岡町
	福井県歴史の道調査報告書 第1集 北陸道Ⅰ・吉崎道	H13(2001)	福井県教育委員会
	坂井市百景	H21(2009)	坂井市

表12 市内各地でまとめられた地域史など

区分	既存調査、成果及び資料など	発行等年	刊行機関など
県など	福井県坂井郡誌	M45(1912)	福井県坂井郡教育会
	新考坂井郡誌	S29(1954)	福井県坂井郡社会科研究会
町など	三国町誌稿	S13(1938)	三国町教育会
	三国町史	S39(1964)	三国町
	丸岡町史	S42(1967)	丸岡町
	春江町史	S44(1969)	春江町
	三国の史跡・名勝・文化財	S44(1969)	三国町
	三国町史料 内田家記録	S45(1970)	三国町教育委員会
	坂井町誌	S48(1973)	坂井町
	三国町史料 町内記録	S48(1973)	三国町教育委員会
	みくにの文化財	S49(1974)	三国町
	三国町史料 村方記録	S49(1974)	三国町教育委員会
	丸岡の文化財	S50(1975)	丸岡町
	三国町史料 海運記録	S50(1975)	三国町教育委員会
	修訂三国町史	S58(1983)	国書刊行会
	三国の昔話	S62(1987)	三国町教育委員会
	三国町百年史	H1(1989)	三国町
	百年のあゆみ	H1(1989)	丸岡町
	増補改訂丸岡町史	H1(1989)	丸岡町
	わが町の文化財	H4(1992)	春江町
	みくにの文化財 (再版)	H5(1993)	三国町
	わが町の文化財 修訂版	H10(1998)	春江町
春江ものしり百科新書	H14(2002)	春江町	
丸岡町の文化財	H17(2005)	丸岡町教育委員会	
新修坂井町誌資料編	H17(2005)	坂井町	
新修坂井町誌通史編	H19(2007)	坂井市	
村・区など	雄島村誌	S7(1932)	雄島尋常高等小学校, 郷土調査編輯部
	鳴鹿村誌	S27(1952)	鳴鹿村
	浜四郷村誌	S31(1956)	浜四郷村
	木部村誌	S37(1962)	坂井町木部支所
	黒目区誌	S59(1984)	米崎弥四郎
	池上区誌	H14(2002)	池上区
	正善区 67年の記録	H24(2012)	正善区の記録実行委員会
	新保区誌	H26(2014)	新保区誌編集委員会
まちづくり 協議会	越前豊原古道 (リーフレット)	H20(2008)	のうねの郷づくり推進協議会
	調べてみようのうねの郷	H21(2009)	のうねの郷づくり推進協議会
	たかむく玉手箱	H22(2010)	たかむくのまちづくり協議会
	コシヒカリの古里から奈良西大寺へ 西大寺お米おくり事業	H23(2011)	たかむくのまちづくり協議会
	たかとの郷今昔物語	H24(2012)	たかとの郷づくり協議会
	えんりゅう ふるさと兵庫 4500年の歴史と文化	H25(2013)	兵庫地区まちづくり協議会
	十郷用水の流れ 千年の時を超えて	H27(2015)	東十郷まちづくり協議会
	いそべむかし話	H27(2015)	磯部地区まちづくり協議会
	きらきら田園大関	H29(2017)	大関まちづくり協議会
	伝えよう福井震災の記憶-東十郷-	R1(2019)	東十郷まちづくり協議会
	おいしい史跡めぐり (リーフレット)	R3(2021)	大石地区まちづくり協議会
	忘れられない青梅の実	R3(2021)	東十郷まちづくり協議会
	地震! 駅前広場の惨状	R3(2021)	東十郷まちづくり協議会

区分	既存調査、成果及び資料など	発行等年	刊行機関など
その他 (郷土史会・ 保存会など)	越前丸岡の民話と伝説	S50(1975)	岩崎新之助
	わがふるさと西里丸岡村 1～22	H5(1993)	吉田哲
	越前丸岡騒動愚覚記 越丸岡ふるさと文庫	H6(1994)	丸岡城下を考える会
	三国今昔あれこれ (その一～その十三)	H9(1997)～ H20(2008)	三国今昔懇話会
	福井震災 語り継ぐわが町の記録 苦難乗り越え五十年	H11(1999)	春江町震災記念誌編纂委員会
	宿の浦ななめ姿誌	H13(2001)	宿郷土史会
	北陸街道悲恋物語ー資料集ー おはや良作二百回忌記念	H19(2007)	坂井町古文書の会
	春江大好き検定 春江ノート 春江大好き検定公式教科書	H21(2009)	春江大好きプロジェクト
	三国湊小史	H21(2009)	印牧邦雄
	鳴鹿大堰をめぐる争い	H21(2009)	坂井町古文書の会
	越前豊原第1号～第3号	H21(2009)～ R2(2020)	豊原史跡保存会
	坂井の宝物 坂井市大好き・かに大好き検定公式教科書	H22(2010)	春江大好きプロジェクト
	鳴鹿大堰をめぐる争い 続	H24(2012)	坂井町古文書の会
	内田惣右衛門家文書記録	H27(2015)	坂井町古文書の会
	磯部川流域物語	H27(2015)	春江ふるさと歴史会
	わが古里の川 九頭竜川流域の集落と文化	H28(2016)	印牧邦雄
	越前三国と三好達治 ～詩人を愛した人と人の輪～	H28(2016)	張籠二三枝
	家法録 内田璞家文書	H28(2016)	坂井町古文書の会
	竹松の事ども 屋号が語る地区の顔	H28(2016)	田邊信
	珍事見聞書 鈴木弘之家文書	H30(2018)	坂井町古文書の会
郷土料理レシピ	R3(2021)	JA 福井県女性部	
安島方言集	R3(2021)	間海幸洋	
安島の方言と解説	不明	住みたくなる町 3600 安島協議会	

## (2) 計画作成にかかる調査

本計画作成にあたり、文化財の保存・活用に関する課題や、これまで把握調査が十分に行なわれておらず、今後の保存・活用にあたって価値の顕在化が必要と考えられる事項等について聞き取りやアンケート、現地踏査による調査を行った。また、文化財の保存・活用に関する市民ニーズの把握と今後のまちづくりへの展開に資することを目的に、ワークショップを開催した。

### ①文化財の所有・管理に係るアンケート調査

本計画作成にあたり、文化財の保存・活用に必要な方策を検討する基礎資料とするため、文化財所有者および管理者に対して以下のとおりアンケート調査を実施した。

**対象：市内の指定・登録文化財所有者・管理者（85件）**

**調査内容：a) 現在、文化財の保存・活用のために行っている取組み**

**b) 観光への対応の取組みの現状や今後についての考え**

**c) 防災の取組みの現状や今後についての考え**

**d) 今後の文化財の保存・活用の推進のため積極的に取り組みたいこと**

**実施時期：令和元（2019）年 10 月 31 日～ 11 月 29 日**



## ②「おたから」調査

本計画作成にあたり、文化財類型に関係なく、また指定・未指定を問わず、市民自身が大切であると考えている多様な文化財の掘り起こしを行い、文化財を総合的に把握することを目的に、以下のとおり調査を実施した。

**対象：市内全行政区（443区）および全まちづくり協議会（23か所）**

**調査内容：**

a) 地区の祭礼・伝承行事およびそれらと関連することから

（自然・生業・食・地名・民話・人物など）

b) a)以外で、地区で大切にされているもの（歴史的建造物・風景・遺跡・自然環境・樹木など）

c) 歴史文化の継承のための課題や地区として今後積極的に取組みたいこと

**実施時期：令和元（2019）年11月13日～令和2（2020）年2月28日**

## ③古墳分布調査

市内における古墳の分布と特質を把握するために、以下のとおり調査を実施した（調査：花園大学考古学研究室）。また、調査成果をもとに、市内全域の古墳分布図を作成した。

**対象：市内全域の古墳**

**事前調査：令和元（2019）年12月6日～8日**

現地踏査場所を確認し、調査資料収集を行った。

**現地踏査：令和元（2019）年12月13日～15日**

## ④鳴鹿地区農家建築群把握調査

丸岡町鳴鹿地区に所在する越前型農家建築の特徴を持つ建築群を把握するため、現地踏査を実施し、その分布を把握した（指導：吉田純一委員）。

**調査範囲：鳴鹿地区（楽間・上久米田・下久米田・東二ツ屋・六呂瀬）**

**現地踏査1日目：令和元（2020）年12月17日**

**現地踏査2日目：令和2（2021）年2月17日**

## ⑤民間の展示公開施設の調査

本計画の基本方針を検討するにあたり、文化財の展示公開施設の状況を把握するため、民間で運営されている施設の現地調査を実施した。

表13 調査を実施した民間の展示公開施設

施設名（所在）	調査実施日	概要
今昔いろいろ （三国町西野中）	令和2年6月30日	個人の建物を再利用して古い民具などを展示している。以前は子供たちの立ち寄り場所となっていた。現在は地区の人が集まり、昔のことを語りあい、記録に残している。
（公財）吉澤資料館 （春江町正蓮花）	令和2年7月8日	吉澤家に伝わる屏風、古文書や歴史・民俗・自然資料などを展示公開している。予約制で公開している。
豊原三千坊史料館 （丸岡町田屋）	令和2年7月9日	豊原家が所蔵する豊原寺にまつわる仏像や朱印状などの史料を展示している。予約制で公開している。

## ⑥ワークショップの開催

計画作成にあたり、計画を周知するとともに市民ニーズを把握し、今後の取組みに反映することを目的として関連文化財群案をテーマとしたワークショップを開催した。

表 14 ワークショップ開催一覧

開催地区	日 時	内 容	参加者
丸岡町鳴鹿地区	令和 2 年 11 月 16 日	関連文化財群「継体天皇伝承の地と坂井市（坂中井）の起源」をテーマとし、令和元年度に実施した古墳の把握調査結果について、調査協力を得た花園大学考古学研究室学生の調査報告と参加者との意見交換を行った。	15 人
坂井町坂井木部地区	令和 2 年 11 月 29 日	関連文化財群「水が育んだ恵みと坂井平野の稲作文化」をテーマとし、かつて鬼辺輪中が形成されていた地域でまち歩きを行った。	27 人
丸岡町城のまち地区	令和 2 年 12 月 3 日	関連文化財群「丸岡城下町の形成と丸岡藩ゆかりの文化」をテーマとし、福井大学工学部野嶋研究室の学生による「学生から見た丸岡城下町の魅力や今後の活用」についての発表と、グループに分かれて今後の活用などについて意見交換を行った。	35 人
三国町雄島地区	令和 3 年 3 月 9 日・16 日	関連文化財群「神の島・雄島を抱く海とともにある暮らし」をテーマとし、雄島エリアでの市民が大切にしているもののマップ作りをするとともに、今後の文化財の保存と活用についての意見交換を行った。	19 人 (3/9) 26 人 (3/16)
春江町大石地区	令和 3 年 7 月 18 日	関連文化財群が 4 つ重なる地区として開催した。市域からみた大石地区の歴史や文化の多様性をまち歩きを通して感じてもらい、歴史や文化活動への意識啓発の向上を図った。	33 人
春江町江留上地区	令和 3 年 7 月 31 日	関連文化財群「鉄道の開通と近代に開花した坂井市の産業と文化」の核のひとつである織物産業で栄えた江留上地区で開催した。地区にある伝統的建造物である旧島崎家住宅離れを見学し、その価値を共有し、今後の保存・活用について地域住民と意見交換を行った。	30 人

## (3) 文化財把握・詳細調査の課題

これまで行われてきた調査は、文化財の種類や種別を中心に実施してきたもの、<sup>しっかい</sup>悉皆調査として継続して調査したものや、同様の文化財が複数存在する中で、特定の文化財を選択して実施したもの、展示などのためにテーマを絞って調査したものなどがある。

本市におけるこれまでの調査について、種別ごとにみると次のような課題がある。

### ①有形文化財（建造物・美術工芸品）

- ・建造物に関する調査は、旧町単位や県、個別の建造物について行われている。その成果が文化財の指定、登録につながっている。また、三国湊町地区、竹田地区の町並み単位での調査は景観形成事業として施策に反映されている。しかし、町によって調査が行われていないところがあるため、バランスの取れた調査を必要とする。
- ・美術工芸品の調査は、三国町では進んでいるが、丸岡町、春江町、坂井町では総合的な調査が行われていないことが課題である。

## ②無形文化財（芸能・工芸技術）

- ・伝統的技術に関する調査としては、福井県により「福井県諸職関係民俗文化財調査報告書」が過去に実施されている。芸能については指定・未指定を問わず、その有無を含めて把握できていない。

## ③民俗文化財（有形・無形）

- ・有形民俗に関する調査は、今後、詳細調査が必要である。
- ・無形民俗は、信仰や芸能、民俗技術に関する調査は一部行われているが、衣食住や年中行事に関するものは行われていないため、今後優先的に調査を実施する必要がある。本計画作成過程で「おたから」調査として年中行事などについて市内全ての行政区と23のまちづくり協議会にアンケート調査を行い、把握に努めた。

## ④記念物（遺跡・名勝地・動物・植物）

- ・遺跡では、市内の古墳群は地域計画作成の過程で把握調査を行った。城館跡、社寺跡では、一部の遺跡で行われているが十分ではない。福井県の遺跡地図によると、市内には374件の遺跡が記されており、開発行為に伴う発掘調査によって各時代の集落跡の把握が少しずつ進んでいる。
- ・名勝地では、寺院の庭園について悉皆調査が行われている。今後は民家などの庭園のほか、景勝地についても把握調査を行う必要がある。
- ・天然記念物では、カモシカの保護地域の調査は実施されているが、それ以外は把握調査がほとんど行われていない。動物は、市内平野部へ飛来するマガン、コクガン、コウノトリなどの鳥類について、分布域の把握調査が必要である。植物は、老齢樹と巨木の把握調査が一部で行われているが、市内全域には及んでいない。また、今後は群生地や社叢林しゃそうりんといった景観形成上に重要なものについても調査が必要である。

## ⑤文化的景観

- ・文化的景観は、把握調査はこれまで実施されていない。地域の生業や産業がつくりだす景観や、地域の歴史や文化と密接に結びつく景観の把握調査が必要である。

## ⑥伝統的建造物群

- ・伝統的建造物群は、三国町で町並み調査が行われているが、三国湊・新保地区に限られている。全市的な把握調査が必要である。

## ⑦その他

- ・伝承については、調査されていない地区がある。地名や方言、眺望、湧水・清水、文学作品については、一部でしか把握調査がされていないため、未実施の地区での調査が必要である。

表 15 文化財調査状況一覧

○：実施済み △：一部実施 ×：未実施 -：該当なし

(R3.9.1)

区分(分類)	調査状況				備考	国指定等	県指定	市指定	国登録	市登録	
	三国町	丸岡町	春江町	坂井町							
有形文化財	建造物					4	5	10	12	0	
	寺社	○	△	△	○	1	5	5	0	0	
	民家	△	△	△	△	1	0	1	10	0	
	そのほか	△	○	×	×	1	0	4	0	0	
	近代以降	△	△	△	△	1	0	0	2	0	
	絵画	△	△	△	△	3	3	0	0	0	
	彫刻	△	△	△	△	0	4	13	0	0	
	工芸品	△	△	△	△	2	3	3	0	0	
	書跡・典籍・古文書	△	△	△	△	0	2	4	0	0	
	考古資料	△	△	△	△	1	1	1	0	0	
歴史資料	△	△	△	△	0	2	3	0	3		
無形文化財					0	0	0	0	0		
	保存技術	△	×	×	△	0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形民俗					0	0	1	0	0	
	民具	×	×	△	×	民具収集事業	0	0	0	0	0
	生業	△	×	△	△	0	0	0	0	0	
	信仰	△	△	△	△	0	0	1	0	0	
	そのほか	×	×	×	×	0	0	0	0	0	
	無形民俗					0	6	6	0	0	
	衣食住	○	△	△	△	0	0	0	0	0	
	生業	△	×	△	△	0	1	0	0	0	
	信仰	△	△	△	△	0	1	0	0	0	
	年中行事	△	△	△	△	0	0	0	0	0	
芸能	△	△	×	△	0	4	6	0	0		
民俗技術	○	○	○	×	0	0	0	0	0		
記念物	遺跡					2	3	12	0	3	
	古墳	△	△	-	×	1	1	2	0	0	
	城館跡	△	△	△	△	0	0	0	0	0	
	社寺跡	△	△	△	△	0	0	3	0	0	
	集落跡	△	△	△	△	0	1	0	0	0	
	そのほか	△	△	△	△	0	1	7	0	0	
記念物	名勝地					1	0	0	1	0	
	庭園	△	△	△	△	寺院庭園のみ	1	0	0	1	0
	動物、植物、地質鉱物					1	3	6	0	0	
	動物	×	×	×	×	0	0	0	0	0	
	植物	△	△	○	△	0	3	6	0	0	
	そのほか	×	×	×	×	1	0	0	0	0	
天然記念物及び名勝	×	-	-	-	1	0	0	0	0		
文化的景観	×	×	×	×	0	-	-	0	-		
伝統的建造物群	△	△	△	△	0	-	-	0	-		

区分(分類)		調査状況				備考	国指定等	県指定	市指定	国登録	市登録
		三国町	丸岡町	春江町	坂井町						
その他	伝承	○	△	×	△		0	0	0	0	0
	地名	△	△	×	×		0	0	0	0	0
	方言	×	×	△	×		0	0	0	0	0
	眺望	△	×	×	×		0	0	0	0	0
	湧水・清水	△	△	×	×		0	0	0	0	0
	文学作品	△	△	×	×		0	0	0	0	0
	景観資源	○	○	○	○		0	0	0	0	0

#### (4) 今後の調査

本市における文化財調査の実施状況及び課題等を踏まえ、今後の把握調査等の実施について以下のとおりとする。

##### ①把握調査

既存の調査は、実施地域や類型に偏りがみられる。指定等文化財以外の文化財の調査を進めていくなかで、偏りを解消するとともに、調査成果を充実させていくことが求められる。

美術工芸品（絵画、工芸品、考古資料）について三国町以外の丸岡町、春江町、坂井町で把握調査を進める。また、名勝地では民家などの庭園や、景勝地について全市で把握調査を進めていく。天然記念物の群生地や社叢林といった景観形成上に重要なものについても把握調査を進めていく。

滅失などの危機にある民俗文化財の無形民俗のうち、衣食住について全市で把握調査を進め、丸岡町では生業、春江町では芸能、坂井町では民俗技術について把握調査を進める。また、有形民俗では全市で民具などの把握調査を進めていく。

無形文化財では芸能の有無の把握調査を進め、部分的な把握にとどまっている工芸技術について調査を進める。

文化的景観や部分的な把握にとどまっている伝統的建造物群について、全市で把握調査を進めていく。

指定等については、坂井町において、町史編纂に把握した未指定文化財が多く存在しているが、指定等に結び付いていないため、積極的に価値を顕在化していく。

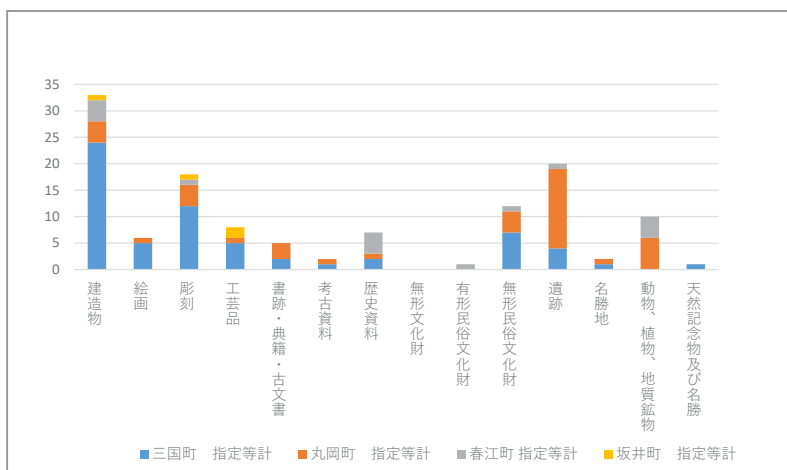


図 20 坂井市における指定等文化財の数

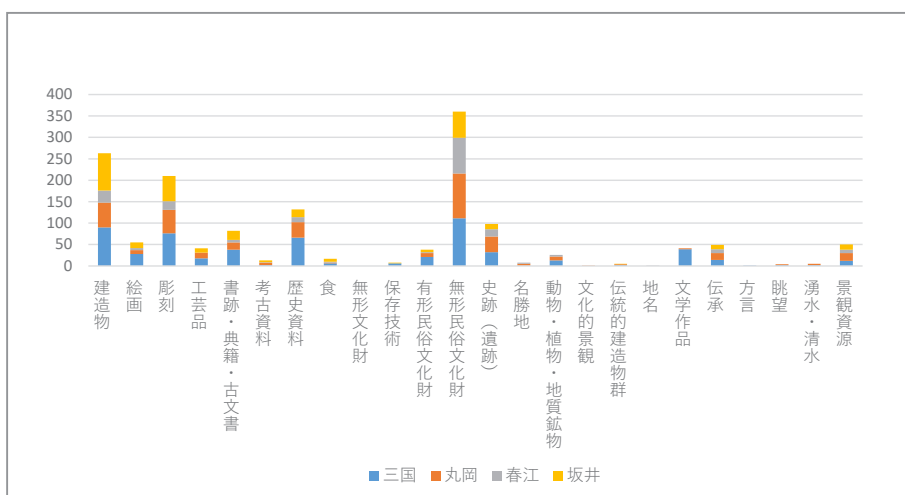


図 21 坂井市における未指定文化財の数

## ②詳細調査

文化財の詳細調査は、本計画で設定した9つの関連文化財群（第5章 p.85～p.111）に関する未指定文化財を中心に実施していく。関連文化財群を構成する文化財（構成文化財）の詳細が明らかになることで、構成文化財同士の関係性が新たに見出されていくものも出てくる。その結果、関連文化財群のストーリーの性格が強化され、歴史文化の継承と発展や地域への誇りと愛着の醸成に対する市民らの理解がさらに深まっていくものと考えられる。

指定等は、9つの関連文化財群のストーリーを強化するために、必要な文化財から優先的に調査を進め、指定等を実施していく。指定等にあたっては、単体の文化財だけで捉えるのではなく、市内に広がる複数の文化財を群として捉えることも視野に入れながら進めていく。

4つの文化財保存活用区域（第5章 p.112～p.114）においては、国指定等文化財をはじめとする核となる文化財が存在しており、その本質的な価値の顕在化に必要な詳細調査を実施していく。

なお、令和元年度に実施した地域の「おたから」調査を継続して計画的に実施していく。調査で収集した情報は整理・データベース化し共有するしくみを構築する。構築後にデータベースを発信することでおたからを多くの人に知ってもらい、身近にある自分たちの大切な宝として理解してくれる人を増やし、歴史文化の継承につなげる。さらにおたからの中から抽出したものについて専門的な調査を行い、指定・登録につなげる。

※把握調査等の取組みの詳細は第6章「文化財の保存・活用の取組み」に記載する。